

10月12日(木曜日): 大会2日目

第2会場(国際会議場)

10:10 マラリア

座長: 河津 信一郎(帯広畜産大学)

- P2-01 バヌアツにおける遺伝子多型の地理的分布とマラリア感染による選択圧
菊池 三穂子¹⁾、安波 道郎¹⁾、奥田 尚子²⁾、塚原 高広³⁾、佐藤 智生²⁾、松尾 恵²⁾、Ratawan Ubaree²⁾、LUM KOJI J.⁴⁾、金子 明⁵⁾、平山 謙二²⁾
1) 長崎大学 国際連携研究戦略本部 2) 長崎大学熱帯医学研究所 環境医学部門 疾病生態分野 分子免疫遺伝学 3) 東京女子医科大学 国際環境 熱帯医学 4) Department of Anthropology, Binghamton University, Binghamton, New York, USA 5) Malaria Research Laboratory, Karolinska University Hospital, Stockholm, Sweden
- P2-02 インドネシア国フローレス島におけるG6PD変異の多様性について
笠原 優一¹⁾、林 多恵子¹⁾、Tantular Indah S.²⁾、川本 文彦³⁾、松岡 裕之¹⁾
1) 自治医科大学 感染免疫学講座 医動物学部門 2) アイルランガ大 熱帯医学 3) 大分大学 研究支援センター
- P2-03 ラオス・カムアン県マラリア流行地域で行った熱帯熱マラリアのCommunity-based screening 調査と、GISを活用した調査結果のフィードバック手法について
白山 芳久¹⁾、Phompida Samlane²⁾、三好 美紀¹⁾、黒岩 宙司¹⁾
1) 東京大学大学院 医学系研究科 国際保健計画学教室 2) Center of Malariology, Parasitology & Entomology, Ministry of Health, Lao PDR
- P2-04 東南アジアにおけるマラリア患者の自然免疫機構の動態
渡部 久実¹⁾、谷口 委代¹⁾、MANNOOR Md. KAISSAR²⁾、李 長春¹⁾、佐藤 良也²⁾、當眞 弘²⁾
1) 琉球大学 遺伝子実験センター 感染免疫制御分野 2) 琉球大学 医学部 熱帯寄生虫学分野
- P2-05 ネズミマラリア原虫(*Plasmodium berghei*) merozoite surface protein 1 をウイルスピリオン上に提示した組換えバキュロウィルスのワクチン効果
荒木 一美¹⁾、吉田 栄人¹⁾
1) 自治医科大学 感染・免疫学講座 医動物学部門
- P2-06 海洋生物由来のレクチンを発現する遺伝子操作蚊のマラリア伝播阻止効果
嶋田 陽平¹⁾、近藤 大介¹⁾、上妻 由章²⁾、吉田 栄人¹⁾
1) 自治医科大学 感染・免疫学講座 医動物学部門 2) 茨城大学 農学部
- P2-07 ヘモグロビン変異モデルマウスに対する *Plasmodium Yoelii* 感染の影響
西野 多聞¹⁾、八重樫 順子²⁾、大橋 十也¹⁾、新垣 奈々²⁾、松本 芳嗣²⁾、衛藤 義勝¹⁾
1) 東京慈恵会医科大学 医学部 DNA 医学研究所 遺伝子治療部門 2) 東京大学大学院農学生命科学研究科応用免疫学教室

10:40 マラリア/寄生虫・その他

座長: 砂原 俊彦(長崎大学)

- P2-08 脳性マラリアで認められた非感染赤血球の血管外漏出
新垣 奈々¹⁾、三條場 千寿¹⁾、片貝 祐子¹⁾、服部 正策²⁾、狩野 繁之³⁾、PONGPONRATN EMSRI⁴⁾、LOOAREESUWAN SORNCHAI⁴⁾、松本 芳嗣¹⁾
1) 東京大学大学院 農学生命科学研究科 応用免疫学教室 2) 東京大学 医科学研究科 奄美病害動物研究施設 3) 国立国際医療センター 研究所 4) Faculty of Tropical Medicine, Mahidol University,

Bangkok, Thailand

- P2 - 09 抗マラリア薬の偽造・規格外医薬品の流通実態について - オセアニアおよびコートジボアールの事例から
奥村 順子¹⁾、植木 俊行¹⁾、谷本 剛²⁾、木村 和子¹⁾
1) 金沢大学大学院 自然科学研究科 薬学系 2) 同志社女子大学 薬学部
- P2 - 10 スリランカの象皮病多発家系における罹患同胞対解析を用いた疾患感受性遺伝子の探索
高木 明子¹⁾、W.V.MIRANI²⁾、菊池 三穂子³⁾、伊藤 誠⁴⁾、木村 英作⁴⁾、安波 道郎³⁾、吉浦 孝一郎⁵⁾、
新川 詔夫⁵⁾、平山 謙二¹⁾
1) 長崎大学熱帯医学研究所 環境医学部門 疾病生態分野 分子免疫遺伝学 2) Dept. Parasitology, Fac. Med., Univ. Ruhuna, Matara, Sri Lanka 3) 長崎大学 国際連携研究戦略本部 4) 愛知医科大学 寄生虫学教室 5) 長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 附属原爆後障害医療研究施設 変異遺伝子解析研究所
- P2 - 11 中国、洞庭湖周辺地域の漁村における水接触行動と日本住血吸虫症感染
竹内 昌平¹⁾、LI YUESHENG²⁾、HE YONGKANG²⁾、ZHOU HUAN³⁾、門司 和彦¹⁾、大塚 柳太郎⁴⁾、渡辺 知保⁵⁾
1) 長崎大学熱帯医学研究所 熱帯感染症研究センター 2) Hunan Institute of Parasitic Diseases, Hunan, China 3) Huaxi school of public health, Sichuan University, Sichuan, China 4) 独立行政法人国立環境研究所 5) 東京大学大学院国際保健学専攻人類生態学教室
- P2 - 12 ケニア国沿岸州クワレ地区ムサンガタム村における医療協力プロジェクト終了後のビルハルツ住血吸虫症の現状
阿部 真由美¹⁾、NGETHE MUHOHO D²⁾、門司 和彦³⁾、嶋田 雅暁³⁾、青木 克己⁴⁾
1) 長崎大学熱帯医学研究所 寄生行動制御分野 2) ケニア中央医学研究所微生物研究センター 3) 長崎大学熱帯医学研究所 熱帯感染症研究センター 4) 長崎大学熱帯医学研究所 寄生行動制御分野
- P2 - 13 ラオスメコン住血吸虫再流行地域における学童の疾病認識と保健教育の必要性
中村 哲¹⁾、松田 肇²⁾、VIROJ KITIKOON⁷⁾、波部 重久³⁾、松本 淳⁴⁾、二瓶 直子⁸⁾、鈴木 琴子⁵⁾、
中津 雅美¹⁾、KOGSAP AKKHAVONG⁶⁾、BOUNGNONG BOUPHA⁶⁾
1) 国立国際医療センター 研究所 2) 獨協医科大学医学部熱帯病寄生虫学講座 3) 福岡大学医学部 アニマルセンター・微生物免疫学講座 4) 北海道大学大学院獣医学研究科 5) 東京学芸大学教育学部 6) ラオス国立公衆保健院、ピエンチャン、ラオス人民民主共和国 7) マヒドール大学
- P2 - 14 ラオスにおける人肺吸虫症の原因種の同定
波部 重久¹⁾、八尋 眞一郎²⁾、VEASNA DUONG³⁾、PETER ODERMATT³⁾、HUBERT BARENNE³⁾、MICHEL STROBEL³⁾、中村 哲⁴⁾
1) 福岡大学 医学部 微生物・免疫学 2) 丸山病院 3) Institut de la Francophonie pour la Medecine Tropicale, Vientiane 4) 国立国際医療センター研究所

11:10 寄生虫・その他

座長：橋爪 真弘（長崎大学）

- P2 - 15 当院で経験したフィリピン毛細虫の1例
坂部 茂俊¹⁾、藤永 和寿¹⁾、辻 奈苗¹⁾、辻 幸太¹⁾
1) 山田赤十字病院 内科
- P2 - 16 寄生虫対策におけるインドセンダンの有効利用
牧 純¹⁾、Brandt R. E.²⁾、古舘 専一³⁾、桑田 正広⁴⁾
1) 北里大学 医学部 環境感染、医学英語 2) 北里大学医学部医学英語 3) 北里大学医学部実験動物 4) 八戸大学健康科学部栄養科学
- P2 - 17 イノコズチによるハブ毒中和機構
出口 晃三¹⁾、有村 美紀¹⁾、平郡 和弥¹⁾、渡邊 裕美子¹⁾、倉園 友江¹⁾、水上 惟文¹⁾
1) 鹿児島大学 医学部 保健学科

- P 2 - 18 奄美大島属島における糞線虫症の疫学的研究
渡邊 裕美子¹⁾、有村 美紀¹⁾、出口 晃三¹⁾、平郡 和弥¹⁾、倉園 友江¹⁾、水上 惟文¹⁾、松尾 敏明²⁾
1) 鹿児島大学 医学部 保健学科 2) 加計呂麻徳洲会診療所
- P 2 - 19 奄美大島龍郷町における寄生虫症の保健学的研究
有村 美紀¹⁾、出口 晃三¹⁾、平郡 和弥¹⁾、渡邊 裕美子¹⁾、倉園 友江¹⁾、水上 惟文¹⁾、再田 育乃²⁾
1) 鹿児島大学 医学部 保健学科 2) 鹿児島県大島郡龍郷町役場保健福祉課
- P 2 - 20 5歳未満児駆虫の小児貧血へのインパクト：ネパール全国駆虫プログラムの評価と持続性の検証
岡村 恭子¹⁾
1) 国連児童基金（ユニセフ）
- P 2 - 21 ラオス南部の低地農村部における児童のタイ肝吸虫症の罹患要因の検討のための予備的調査
友川 幸¹⁾、小林 敏生¹⁾、門司 和彦²⁾、金田 英子²⁾、Boungnong BOUPHA³⁾
1) 広島大学 2) 長崎大学熱帯医学研究所 3) National Institute of Public Health, Ministry of Health, Vientiane, Lao P.D.R.

11:40 新興感染症・その他

座長：長谷部 太（長崎大学）

- P 2 - 22 SARS（新型肺炎）の血清学的診断法確立並びに血清疫学的研究
余 福勲¹⁾、井上 真吾¹⁾、長谷部 太¹⁾、Parquet Maria del Carmen¹⁾、森田 公一¹⁾
1) 長崎大学熱帯医学研究所 分子構造解析分野
- P 2 - 23 インドネシアの鳥及び新型インフルエンザ対策における疫学分野支援ニーズ評価
中島 一敏¹⁾
1) 国立感染症研究所 感染症情報センター
- P 2 - 24 多遺伝子解析でアウトグループに位置した *Paracoccidioides brasiliensis* IFM54648株
佐野 文子¹⁾、Itano Eiko Nakagawa²⁾、高山 明子¹⁾、Ono Mario Augusto²⁾、鎗田 響子¹⁾、宮治 誠¹⁾、
亀井 克彦¹⁾、宇野 潤¹⁾、三上 襄¹⁾、西村 和子¹⁾
1) 千葉大学 真菌医学研究センター 2) パラナ州立ロンドリーナ大学生物科学研究所
- P 2 - 25 リベリア・ハーパーにおける感染症の現状と血液ドナーに対する STD の現状
ミラー 真里¹⁾
1) 岡山大学大学院 保健学研究科 検査技術科学

第5会場（リハーサル室）

10:10 腸管感染症

座長：中込 治（長崎大学）

- P 2 - 26 日本、バングラデシュ、タイ、ベトナムにおけるアイチウイルスの分子疫学
Pham Thi Kim Ngan¹⁾、Khamrin Pattara¹⁾、Nguyen Anh Tuan¹⁾、Shuvra Kanti Dey¹⁾、Phan Gia Tung¹⁾、沖津
祥子¹⁾、牛島 廣治¹⁾
1) 東京大学大学院 医学系研究科 発達医科学教室
- P 2 - 27 Emergence of type G 9 rotavirus in Turkey.
Ahmed Kamruddin¹⁾、Bozdayi Gulendam²⁾、Dogan Bora²⁾、Sari Sinan³⁾、Bostanci Ilknur⁴⁾、Dalgic Buket³⁾、Dal-
lar Yildiz⁴⁾、Rota Seyyal²⁾、西園 晃⁵⁾
1) 大分大学 総合科学研究支援センター 2) Department of Medical Microbiology, Faculty of Medicine, Gazi
University 3) Department of Pediatric Gastroenterology, Faculty of Medicine, Gazi University 4) Department of
General Pediatrics, Ministry of Health Ankara Training and Education Hospital 5) 大分大学 医学部 感染分子

病態制御講座

- P 2 - 28 2001年から2003年に日本、中国、ロシア、タイ、ベトナムにおいて分離されたヒトロタウイルス G1 ,G2 , G3 ,G4 の VP7 の遺伝子解析
Trinh Duy Quang¹⁾、Nguyen Anh Tuan¹⁾、Phan Gia Tung¹⁾、Khamrin Pattara¹⁾、Yan Hainian¹⁾、沖津 祥子¹⁾、牛島 廣治¹⁾
1) 東京大学大学院 医学系研究科 発達医科学教室
- P 2 - 29 バングラデシュ、ダッカにおけるノロウイルス胃腸炎の分子疫学
Dey Shuvra Kanti¹⁾、Nguyen Tuan Anh¹⁾、Phan Tung Gia¹⁾、沖津 祥子¹⁾、牛島 廣治¹⁾
1) 東京大学大学院 医学系研究科 国際保健学専攻 発達医科学教室
- P 2 - 30 ベトナムの水系環境から分離した *Vibrio cholerae* の薬剤感受性について
比嘉 直美¹⁾、TOMA CLAUDIA²⁾、Nguyen Binh Minh⁴⁾、岩永 正明⁵⁾、安田 正昭³⁾、鈴木 敏彦²⁾
1) 琉球大学 大学院医学研究科 病原因子解析学分野・大学院連合農学研究科 生物機能開発学 2) 琉球大学 大学院医学研究科 病原因子解析学分野 3) 琉球大学 大学院連合農学研究科 生物機能開発学 4) ベトナム国立衛生疫学研究所微生物 5) アワセ第一医院
- P 2 - 31 コレラ菌の線維状ファージ fs 2 の *attL*, *attR* 領域の解析
江原 雅彦¹⁾
1) 長崎大学熱帯医学研究所 病原因子機能解析
- P 2 - 32 柑橘抽出デバイスを利用したサルモネラ検出法のラオスにおける調査
翠川 裕¹⁾
1) 鈴鹿医療科学大学 保健衛生学部 医療栄養学科

10 : 40 腸管感染症 / 蚊媒介性ウイルス病

座長 : Ahamed Kamruddin (大分大学)

- P 2 - 33 バングラデシュにおけるコレラの季節変動を制御する気象因子
橋爪 真弘¹⁾、Armstrong Ben¹⁾、Wagatsuma Yukiko²⁾、Faruque ASG³⁾、Hayashi Taiichi⁴⁾
1) London School of Hygiene and Tropical Medicine 2) University of Tsukuba 3) International Centre for Diarrhoeal Disease Research, Bangladesh 4) Kyoto University
- P 2 - 34 フラクトオリゴ糖継続摂取がバングラデシュ都市部スラム街小児の体重増加および下痢発症抑制に及ぼすプレバイオティク効果 - 無作為二重盲検プラセボ試験 -
中村 禎子¹⁾、SA Sarker²⁾、MA Wahed²⁾、我妻 ゆき子³⁾、奥 恒行¹⁾、門司 和彦⁴⁾
1) 県立長崎シーボルト大学 大学院 人間健康科学研究科 2) 国際下痢症研究センター 3) 筑波大学大学院人間総合科学研究科 4) 長崎大学熱帯医学研究所熱帯感染症研究センター
- P 2 - 35 システインプロテアーゼ阻害剤による *Entamoeba* の脱嚢及び脱嚢後アメーバの発育の抑制
牧岡 朝夫¹⁾、熊谷 正広¹⁾、小林 正規²⁾、竹内 勤²⁾
1) 東京慈恵会医科大学 熱帯医学講座 2) 慶応大学 医学部 熱帯医学寄生虫学教室
- P 2 - 36 米国の節足動物媒介感染症サーベイランス マサチューセッツとニューヨークでの経験
蜂矢 正彦¹⁾
1) 国立国際医療センター 国際医療協力局 派遣協力第二課
- P 2 - 37 ベトナム国中部ナチャン市の乾季における Dengue 熱媒介蚊 *Aedes aegypti* 幼虫・蛹の発生源とその分布
都築 中¹⁾、Vu Trang Duoc²⁾、比嘉 由紀子¹⁾、Le Viet Lo³⁾、後藤 健介¹⁾、Le Trung Nghia³⁾、野内 英樹¹⁾、Nguyen Thi Yen²⁾、高木 正洋¹⁾
1) 長崎大学熱帯医学研究所 2) ベトナム国立疫学・公衆衛生学研究所 3) ナチャン市国立パスツール研究所
- P 2 - 38 一般市民におけるウエストナイルウイルス感染症の認知状況とワクチン需要予測調査
鈴木 智之¹⁾、大日 康史²⁾、多田 有希²⁾、PAUL KITSUTANI²⁾、登坂 直規¹⁾、菅原 民枝²⁾

岡部 信彦²⁾

1) 国立感染症研究所 感染症情報センター 実地疫学専門家コース(FETPJ) 2) 国立感染症研究所 感染症情報センター

P 2 - 39 東南アジアおよび太平洋州におけるチクングニアウイルス感染症の分布

井上 真吾¹⁾、Nemani Talemaitoga³⁾、A. Aryati⁴⁾、Mohammed A. Islam⁵⁾、Efren M. Dimaano⁶⁾、Ronald R. Matias⁷⁾、Wimal Abeyewickreme⁸⁾、大石 和徳²⁾、Filipinas F. Natividad⁷⁾、森田 公一¹⁾

1) 長崎大学熱帯医学研究所 分子構造解析分野 2) 長崎大学熱帯医学研究所 感染症予防治療分野
3) National Center for Scientific Services on Virology and Vector Borne Diseases 4) Department of Clinical Pathology, School of Medicine, Airlangga University 5) Bangladesh Agricultural University 6) Blood Borne Diseases, San Lazaro Hospital 7) Research and Biotechnology Division, St. Luke's Medical Center 8) Department of Parasitology and Molecular Medicine, School of Medicine, Kelaniya University

11 : 10 蚊媒介性ウイルス病

座長：井上 真吾（長崎大学）

P 2 - 40 デングウイルス二次感染症における血小板減少への静注用 γ グロブリン大量療法の効果

齋藤 麻理子¹⁾、井上 真吾²⁾、本田 章子¹⁾、有吉 紅也¹⁾、大石 和徳³⁾

1) 長崎大学熱帯医学研究所 感染症予防治療分野 2) 長崎大学熱帯医学研究所 分子構造解析分野
3) 大阪大学 微生物病研究所 感染症国際研究センター 高病原性感染症研究部門

P 2 - 41 デング出血熱症例の末梢血動態の検討（タイラヨン県における）

花房 茂樹¹⁾、Charnchudhi Chanyasanha²⁾、Dusit Sujirarat²⁾、鈴木 忠¹⁾

1) 東京女子医科大学 救急医学 2) マヒドン大学公衆衛生学

P 2 - 42 デング熱回復者リンパ球を用いたヒト Fab ライブラリーの構築と抗デングウイルス 3 型中和モノクローナル抗体の分離

上地 玄一郎¹⁾、山城 哲²⁾

1) 長崎大学 国際連携研究戦略本部 2) 熱帯医学研究所

P 2 - 43 パラグアイにおけるデング 3 型ウイルスの分子疫学

Diaz Aquino Jose¹⁾、湯 偉峰¹⁾、石井 竜一¹⁾、牧野 芳大¹⁾

1) 大分大学 医学部 感染分子病態制御

P 2 - 44 バングラデシュにおける2002年のデング流行に関する分子生物学的ならびに臨床学的解析

Mohammed A. Islam¹⁾、Muzahed U. Ahmed²⁾、Nasima Begum³⁾、Naseem A. Chowdhury³⁾、Afjal H. Khan¹⁾、Maria del C. Parquet¹⁾、井上 真吾¹⁾、長谷部 太¹⁾、鈴木 康夫⁴⁾、森田 公一¹⁾

1) 長崎大学熱帯医学研究所 分子構造解析分野 2) Department of Medicine, Faculty of Veterinary Science, Bangladesh Agricultural University 3) Shaheed Suhrawardi Hospital 4) 静岡県立大学 薬学部 生化学教室

P 2 - 45 デングウイルス感染症の HLA 解析

NGUYEN LAN P.T. ¹⁾、菊池 三穂子²⁾、安波 道郎²⁾、Vu Huong Q.T. ³⁾、Vu Ngu T.T. ³⁾、Hoang Dao N. ³⁾、Vo Tham D. ⁴⁾、Tran Dat V. ⁵⁾、Do Ha Q. ³⁾、小山 寿文¹⁾

1) 長崎大学熱帯医学研究所 環境医学部門 疾病生態分野 分子免疫遺伝学 2) 長崎大学 国際連携研究戦略本部 3) Arbovirus laboratory Pasteur Institute, HCMC, Vietnam 4) Pediatric Hospital No 2, HCMC, Vietnam 5) Center for Preventive Medicine, Vinh Long Province, Vietnam 6) 長崎大学熱帯医学研究所 病原体解析部門 分子構造解析分野 ウィルス学教室

P 2 - 46 日本脳炎迅速診断のための Real Time RT - LAMP 法の開発とその評価

森田 公一¹⁾、Santhosh SR²⁾、Dash PK²⁾、Tripathi NK²⁾、Saxena P²⁾、Ambuj P²⁾、Sahni AK²⁾、Lakshmanarao PV²⁾、Parida Manmohan²⁾

1) 長崎大学熱帯医学研究所 分子構造解析分野 2) Division of Virology, Defence Research & Development Establishment

11 : 40 蚊媒介性ウイルス病 / 狂犬病・その他

座長 : 山城 哲 (長崎大学)

- P 2 - 47 Evidence of a pH-dependant conformation specific structural epitope in Japanese encephalitis Virus.
Mathenge Edward G. M.¹⁾, Nawa Masaru²⁾, Morita Kouichi¹⁾
1) Department of Virology, Institute of Tropical Medicine, Nagasaki University 2) Department of Microbiology, Saitama Medical School
- P 2 - 48 KAP survey on rabies and pet care in Kandy District, Sri Lanka 2006
Matibag GC¹⁾, Kamigaki T¹⁾, Wijewardana TG²⁾, Kumarasiri PVR³⁾, Kalupahana AW²⁾, Dissanayake DRA²⁾, De Silva DDN²⁾, Gunawardena GSP DeS²⁾, Obayashi Y¹⁾, Tamashiro H¹⁾
1) Graduate School of Medicine, Hokkaido University 2) Faculty of Veterinary Medicine and Animal Science, University of Peradeniya 3) Faculty of Medicine, University of Peradeniya
- P 2 - 49 Evaluation of health-seeking behavior among exposed persons in the community, Central Province, Sri Lanka
Matibag GC¹⁾, Kamigaki T¹⁾, Wijewardana TG²⁾, Kumarasiri PVR³⁾, Kalupahana AW²⁾, Dissanayake DRA²⁾, De Silva DDN²⁾, Gunawardena GSP DeS²⁾, Obayashi Y¹⁾, Tamashiro H¹⁾
1) Graduate School of Medicine, Hokkaido University 2) Faculty of Veterinary Medicine and Animal Science, University of Peradeniya 3) Faculty of Medicine, University of Peradeniya
- P 2 - 50 開発援助と精神医学 - 文化結合症候群の視点から -
吉田 尚史¹⁾
1) 東邦大学医療センター大橋病院精神神経医学講座
- P 2 - 51 カンボジアの助産師継続教育の現状
鈴木 里美¹⁾、平井 さよ子²⁾、飯島 佐知子³⁾、賀沢 弥貴⁴⁾、柳澤 理子⁵⁾
1) 岐阜県立看護大学 2) 愛知県立看護大学 3) 愛知県立看護大学 4) 愛知県立看護大学 5) 信州大学医学部保健学科